

度告セハ人々モ亦此建設ニ其社会より利便アル
ヲ莫知シ雖ニ彼全額ヲ使ハルモ如キ事歟、金額
ニシテ亦振テ賣買ノ行ハルニ由リハ此社会ノ事勢
モ亦從テ盛衰ニ迫リシテ必セリ雖然其業ノ盛衰ハ
自他ノ信義有無ニ由ル何ニヤリ也、事ヲ執ルヤ
誠親ヲ主ンヤ堅固ニシテ人々ヲシテ一目信ヲ置カシムル
ニ此ハ不アリ古人曰誠立ニ難如升天而復降土
ニ易如燎毛ト多シ夫放過勿謂一タニ信用ヲ失ス
ル時ハ只ニ社会ノ衰枯ノミナラズ則チ自己私家ノ毀
敗ニ關スル一最大ナリトス故ニ其衰枯ト毀譽トハ同
盟各位ノ自ラ之ヲ招キ之ヲ遠フモノト確信シ堅忍
憤勵以テ全額ノ機軸ヲ堅牢ナラカシメサル可ラス
卑生惟ヘラク己ニ盟ヲ會社上ニ立テ班ヲ各位ノ下ニ

辱フス會社上ノ義務ハ是ヨリ大奮勵セサル可ラリ
ルモ其平日社交ノ交誼ニ於テモ互ニ親睦ヲ敦クシ
所謂輔車相依ノ友情ヲ表セシハ万可ラスト思望
ラリハ同盟各位亦是事ヲ以テ心トシ榮譽共ニ收メ
以テ永ク社名ヲ汚サ、ラレテ卑生本會ヲ開ク
ニ方リ歡喜禁スル能ハス則チ鳴謝ノ志思ヲ致シ保テ
此ノ立會ヲ頑ス

明治二十一年四月二十日 五代友右子